

## 第 9 期高齢者福祉計画の進捗状況（令和 3 年度～令和 5 年度）

## 1. 高齢者福祉サービス事業の内容及び現状・課題

事業名	事業内容	現状・課題
①高齢者生きがい 活動支援通所事業	<p>【サービス内容】 家に閉じこもりがちな高齢者に対し、各種サービス（生活指導・健康チェック・レクリエーション・日常動作訓練など）を提供し、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持と向上を図り、在宅で自立した生活が送れるよう支援します。</p> <p>回数：週 1 回</p> <p>【対象者】 おおむね 65 歳以上で、日中ひとりになり、家に閉じこもりがちな高齢者（要支援・要介護認定を受けている方を除く。）</p> <p>【利用者負担】 1 回あたり 500 円（昼食代等）。</p>	類似事業として介護予防・生活支援サービス事業があり、高齢者の状態に応じた事業の連携について検討が必要です。
②配食サービス事業	<p>【サービス内容】 在宅のひとり暮らしの高齢者等に対し、定期的に訪問して食事を提供するとともに安否確認を行うことにより、高齢者等の健康を保持し、自立した生活が送れるよう支援します。</p> <p>回数：1 日 1 食（夕食）（土・日・祝日等を除く。）</p> <p>【対象者】 おおむね 65 歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯並びに心身障がい者で、疾病等により食事の調理が困難な方</p> <p>【利用者負担】 1 食あたり 300 円</p>	高齢者向けの食事（軟飯やキザミ食等）や減塩食・糖尿病食等の対応について、検討が必要です。また、食事の調達について、広範囲に対応できる業者が少ない状況であり、安否確認を兼ねた配達方法についても検討が必要です。
③緊急通報システム 事業	<p>【サービス内容】 ひとり暮らしの高齢者等に緊急通報装置（緊急通報用電話・火災報知器・人感センサー）を貸与し、在宅時における急病や事故等の緊急時に救助、援助をおこないます。</p> <p>【対象者】 ◎おおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者 ◎ひとり暮らし又は 2 人世帯の重度身体障がい者 ◎65 歳以上の 2 人世帯で、どちらかが要介護 2 以上の高齢者</p> <p>【利用者負担】 利用者世帯の課税状況により月額負担金あり（非課税世帯、町民税均等割のみの世帯等は負担なし）</p>	ひとり暮らし高齢者等の増加により、不安を抱えている方が増えているため、さらに事業の周知が必要となっています。

④軽度生活援助事業	<p>【サービス内容】</p> <p>在宅で生活する高齢者等に対して、軽易な日常生活上の援助【①外出時の援助、②食事及び食材の確保、③衣類の洗濯及び補修、④家屋内の整理及び整頓、⑤軽微な修繕等、⑥家周りの手入れ、⑦除雪（雪下ろしは除く。）、⑧台風時自然災害への防備】を行い、安心できる生活の維持を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用の回数：月 10 回以内</li> <li>・利用時間帯：午前 9 時から午後 4 時まで</li> <li>・利用時間：1 回の利用につき 2 時間以内</li> </ul> <p>【対象者】</p> <p>◎おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯</p> <p>◎障がい者のみの世帯又は主たる生計者が障がい者の世帯</p> <p>【利用者負担】</p> <p>①～⑥：1 時間 150 円</p> <p>⑦、⑧：要した費用の 1 割</p>	<p>類似事業として介護予防・生活支援サービス事業があり、高齢者の状態に応じた事業の連携について検討が望まれます。</p>
⑤家族介護用品購入助成券支給事業	<p>【サービス内容】</p> <p>在宅で高齢者等を介護している家族等に対して、家族介護用品（紙おむつ等）購入助成券（月額 3,000 円）を支給し、在宅高齢者及び家族の負担を軽減します。助成券と引き換えに、町内の指定薬局等から購入することができます。</p> <p>【対象者】</p> <p>◎在宅で生活するおおむね 65 歳以上の高齢者で、寝たきりや認知症により常時失禁状態にあり、1 日 4 回以上の紙おむつ等の交換が必要であると居宅介護支援専門員等が認めた方</p>	<p>高齢者人口が増加傾向にあるため、事業費が年々増大すると見込まれます。利用状況等を踏まえ、内容の見直しを検討していく必要があります。</p>
⑥外出支援サービス事業	<p>【サービス内容】</p> <p>一般の交通機関を利用することが困難な高齢者等に対し、原則、月 1 回、リフト付きワゴン車により自宅と医療機関間を送迎します。（送迎範囲は概ね片道 30 km 以内。送迎にあたっては付き添いの方が必要。土・日・祝日、年末年始を除く平日の午前 9 時から午後 4 時まで。）</p> <p>【対象者】</p> <p>◎おおむね 65 歳以上の高齢者で、一般の交通機関の利用が困難な方</p> <p>◎おおむね 60 歳以上の高齢者で、下肢が不自由な方</p> <p>【利用者負担】</p> <p>なし</p>	<p>介護タクシーが普及していることから、利用者のニーズを踏まえたうえで、事業内容・支援方法の見直しが必要となっています。</p>

⑦車いす同乗軽自動車貸出事業	<p>【サービス内容】</p> <p>自力で歩行が困難な高齢者等に対し、外出を支援するために、車いすを同乗できる軽自動車の貸し出しを行います。(運転手は家族、ボランティア等)</p> <p>利用回数：原則、月2回以内</p> <p>【対象者】</p> <p>◎65歳以上の高齢者</p> <p>◎身体障がい者手帳又は療育手帳を有する方等</p> <p>【利用者負担】</p> <p>なし</p>	介護タクシーが普及していることから、利用者のニーズを踏まえたうえで、事業内容・支援方法の見直しが必要となっています。
⑧高齢者日常生活用具給付事業	<p>【サービス内容】</p> <p>要援護高齢者及びひとり暮らし高齢者等に対し、日常生活用具(電磁調理器・火災警報器・自動消火器)を給付し日常生活の便宜を図ります。</p> <p>【対象者】</p> <p>〈電磁調理器〉</p> <p>おおむね65歳以上で、心身機能の低下に伴い防火等の配慮が必要なひとり暮らし高齢者等</p> <p>〈火災警報器・自動消火器〉</p> <p>おおむね65歳以上の低所得者の寝たきり高齢者、ひとり暮らし高齢者等</p> <p>【利用者負担】</p> <p>所得に応じて利用者負担額あり(非課税世帯、町民税均等割のみの世帯は負担なし)</p>	火災警報器等の普及もあり、利用者が減少傾向です。住民への事業の周知に努めるとともに、内容の見直しを検討していく必要があります。
⑨敬老祝金支給事業	<p>【サービス内容】</p> <p>多年にわたり社会に貢献してきた高齢者を敬い、長寿を祝福するため、節目の年齢を迎える高齢者に対し、敬老祝金を支給します。</p> <p>・80歳の方 5,000円</p> <p>・90歳の方 20,000円</p> <p>・100歳の方 50,000円</p>	高齢者人口が増加傾向にあることから、事業内容(支給方法等)の見直しが必要です。

#### 【その他の高齢福祉事業】

事業名	事業内容	課題
①老人クラブ活動支援事業	高齢者が地域の中で生きがいをもって社会参加ができるよう、補助金を交付し、町内の老人クラブの活動を支援します。このことは、元気な高齢者が、閉じこもりや虚弱傾向にある高齢者を支える等の相互支え合い事業としての役割を担っており、活動の活性化を目指しています。	単位(地区)老人クラブが存続できる支援を検討していく必要があります。
②シルバー人材センター支援事業	定年退職後も今まで培ってきた技術や知識を生かし社会参加を希望する60歳以上の方に、臨時的短期的な就労の場を提供し、生きがいの創出、地域社会の活性化を図ることを目的とするシルバー人材センターに補助金を交付し、活動を支援します。	会員数を増やし受注件数を増加させ、経営を安定させることが必要です。

## 2. 高齢者福祉サービス事業の利用状況

単位 事業費：千円

		R 3	R 4	R 5
①高齢者生きがい活動支援通所事業	事業費	5,743	6,567	10,160
	利用件数 (延べ)	1,683	1,676	3,357
②配食サービス事業	事業費	4,513	4,780	5,339
	配食数 (延べ)	6,803	7,189	8,000
③緊急通報システム事業	事業費	3,509	3,299	4,251
	利用者数	123	109	140
④軽度生活援助事業	事業費	1,548	490	1,861
	利用件数 (延べ)	690	252	950
⑤家族介護用品購入助成券支給事業	事業費	8,161	7,980	8,700
	利用者数	320	266	242
⑥外出支援サービス事業	事業費	1,833	1,922	2,134
	利用件数 (延べ)	407	387	430
⑦車いす同乗軽自動車貸出事業	事業費	132	29	234
	利用件数 (延べ)	61	22	100
⑧高齢者日常生活用具給付事業	事業費	0	0	51
	給付件数	0	0	3
⑨敬老祝金支給事業	事業費	5,610	4,706	5,265
	支給件数	412	398	411

※ R 3 及び R 4 の事業費は決算額。件数等については実績値。

※ R 5 の事業費は予算額。件数等については見込値。